

---

# 輝いて。

甲斐仁

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

輝いて。

### 【Nコード】

N2526D

### 【作者名】

甲斐仁

### 【あらすじ】

たった一人、貴女を想う。詩に近いやもしれません。

わたしは、思うのです。

わたしに、意味などあるのでしょうか。

長い年月を過ごしてきたわたしですが、今は貴女を想って止まないので。

貴女に惹かれて、止まないのです。

たった一人のひとである貴女を想う。

愚かなわたしですが。

貴女を想うことだけは、許してもらえるでしょうか。

「私、綺麗でしょう？ねえ、見てよ」

わたしに呟く君は、必死に輝こうとする。

その様を、愚かだと思う私がいる。

わたしとて、自ら輝けるわけではないのに。

わたしとて、愛しいひとに気づいてほしくて、必死に輝こうとしているのに。

こんな私は、やはり貴女には愚かにうつるのでしょうか。

「貴女を、愛しています」  
何度呟いても、届かない。

「貴女に、気づいてほしい」  
私の想いは、届かない。

愛しい、ひと。  
たった一人、貴女にみてほしい。

「愚かだな、貴様は」  
わかっている。

私は、貴方がいなければ輝けないから。  
「愚かだな、お前は」  
わかっている。

私は、貴方のように気づいてもらえない。

長すぎる年月を過ごして、わたしは今ここにある。  
誰にも気づいてもらえず、ただここにあるわたしですが。

貴女に。

どうしても、気づいてもらいたい。

そう願うわたしは、やはり愚かなのでしょう。

どうか、わたしを見てください。  
わたしに、気づいてください。

こんな愚かなわたしを、見て。気づいて。

太陽のように、私は輝けない。

月のように、皆に見つめられるわけでもない。

その他の兄弟のように、私は強く輝けるわけではない。

だから。

長い年月を過ごしたわたしが、最初で最後。  
たったひとり、愛した、貴女に。

ひとを愛した、愚かなわたしを。

見て、ほしいのです。

「あつ、ねえ、流れ星!!」

「お、珍しいなあ…ってどこだよ」

「もう消えたもんね、えへへ。お願いしちゃった」

「ナニ？俺と結婚とか？」

「もう、バカ!! / / /」

貴女に気づいてもらえるだけで、わたしは満足です。  
幸福の中で、消えるわたしは。

生まれてはじめて。

この世に生を受けて、よかったと思えました。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2526d/>

---

輝いて。

2010年10月11日10時47分発行